



セブ島通信

セブ日本人会報

2018年3月号
(隔月発行)
発行所
セブ日本人会
5th Floor
Clotilde Commercial Bldg,
ML Quezon St. Casuntigan,
Mandaue City, CEBU
TEL: (032) 343-8066
FAX: (032) 343-7663
発行人: 櫻井絹恵
編集人: セブ日本人会
http://www.ja-cebu.com
info@ja-cebu.com

2018年度
セブ日本人会
定時総会

1月27日(土曜日) 18時から行われた2018年度のセブ日本人会定時総会は、正会員241人の内、33名の出席と委任状136通により規定数充足に定時総会は成立しました。

セブ日本人会定時総会の報告

1982年から続いてきた歴史あるセブ日本人会の運営を任されている現役の理事にとって一番緊張する一日です。会場は恒例となつていゝMarco Polo Plaza Cebuの北京・上海ルームで行われました。櫻井会長の挨拶から始まつたセブ日本人会定時総会の報告をさせていただきます。

櫻井会長の挨拶

先ず、セブ日本人会会長として2期目をむかえる櫻井会長が冒頭のあいさつで、日本人コミュニティ作りとフィリピン社会への友好に尽力を尽くすと決意が述べられました。櫻井会長は全世界の日本人会で初めて選出された女性の会長です。女性である特徴を活かして、長年日本人会に入会されなかった方々や若い方々、そして女性会員や家族会員の増加に努めています。



その後、櫻井会長からセブ日本人会の活動を支えてくださっている、セブ領事館事務所、セブ日本人商工会議所、セブ補習校の講師及びご父兄の方々にお礼があり去年の活

動報告がありました。1期目はセブ日本人会のホームページやFacebookの充実化をはかり、安全情報や生活に役立つ情報や行事の案内などを充実させています。

そして櫻井会長が一番力を入れている行事である「セブ盆踊り」について話されました。毎年拡大するセブ盆踊りは去年3万5000人を超える入場者があるセブ島最大の祭りになっています。盆踊りを行う意義と去年の報告、そして今年4月27日、28日に行われる詳しい内容が話されました。現在「セブ盆踊り」はセブに住む日本人とフィリピン人を繋ぐセブ日本人会の活動の大きな柱になっています。

最後はセブ日本人会がセブに住む日本人に信頼され皆様の生活と安全な暮らしに満足をして頂けるよう、今後の活動をますます充実させる努力をすると決意が述べられ「2018年度セブ日本人会定時総会」がスタートしました。

3つの議案が話し合われた本会議

櫻井会長の挨拶に続き、来賓として参加して頂いた鶴岡セブ領事事務所所長、浅見セブ商工会会頭に挨拶を頂きました。来賓の挨拶の後、議長の選出で川村様が指名されて予定通り総会の本会議が行われています。今年の議案は3つありました。

○第1号議案…2017年度の活動報告と決算報告

・2017年セブ日本人会活動報告は山中企画担当理事から説明がありました。

・2017年セブ日本人会決算報告は松田財務担当理事から説明がありました。

・2017年セブ日本人会決算報告は中野監査人の厳しい内容チェックを受け、全て問題無しとの報告を頂きました。

○第2号議案…2018年度の活動予定と予算案

・2018年度セブ日本人会活動報告は山中企画担当理事から説明がありました。

・2018年度セブ日本人会予算案は松田財務担当理事から説明がありました。○第3号議案…セブ日本人会会則「III. 会員と会費 1:1個人会員」入会要件の変更について

・蝶谷会則担当理事から改正点の報告と説明がありました。

旧…所定の申し込み用紙と旅券コピー及び届出済の在留届控えのコピー(紛失の場合は新規の在留届用紙に記入の上入会申込用紙と共に日本人会に提出のこと)を添え、理事会の承認を得て会員となることができる。

新…所定の申し込み用紙と旅券コピーを添え、理事会の承認を得て会員となることができる。

変更の理由は現在、届出済の在留届控えのコピーの入手が困難と言うことでした。

○満場一致で承認される
全ての議案が提出されたあと川村議長のもと質疑応答がおこなわれ、参加者全員の拍手をもって1号議案、2号議案、3号議案の全てが承認されました。

【懇親会】

セブ日本人会定時総会の後は懇親会です。進行はイベント担当の黒河内理事がおこないました。

乾杯の音頭を領事事務所の山田領事様をお願いして19時からのスタートです。

【餅つき大会】

毎年恒例の餅つきがセブ日本人補習授業校の講師とセブ日本人会会員の奥様方のご協力を頂き行われました。セブ日本人会定時総会はお正月気分が残る1月に行われるので餅つきはとても重要です。松田理事がふんどし姿でおもちをついた時は掛け声も起こり、とても盛り上がりしました。

協力して頂いたご婦人の皆様、そしてお餅をついて頂いた男性の皆様にとっても感謝いたします。

【2017年度の盆踊りの報告】

去年の盆踊りのビデオが流され説明が行われました。
3万5000人以上の来客があった去年のセブ盆踊りは過去最高の人出でした。日本から和太鼓チームのGOCOCOさんや演歌歌手、漫才師、火付けダンサーさんなどが参加してくださり、盆踊りの盛り上げに協力してくださったのです。



懇親会に参加した人々とビデオで去年の盆踊りを振り返り、今年の盆踊りの気分を高めることができたと思います。

【セブ島での健康意識調査結果報告】

最後は和歌山県立医科大学の森岡先生による「タイ王国とフィリピンに長期滞在する日本人における健康行動に関する調査結果」の報告が行われました。今回、健康行動を「健康意識」「精神成長」「身体活動」「人間関係」「栄養」「ストレス管理」の6つの側面から検討されています。

セブに住む日本人の特徴として「健康意識」「身体活動」「栄養」に関しては比較的低い結果でしたが「精神成長」「人間関係」に関しては良い傾向が出ていました。最後に頂いたアドバイスは以下の通りです。

・日本と異なる文化圏で、意義ある生活を送り、家族だけでなく、友人との付き合いも大切にし、有意気な友人関係を保っている姿が窺えた。

・また、日々の生活に運動を取り入れて楽しんでいるものの、食生活における配慮がもう少し望まれる。

・また、受診した時は自分でもう少し積極的に尋ねること、健康管理に関する学習会に参加することも望まれる。

まとめ

毎年行われるセブ日本人会定時総会と懇親会は楽しみにしている会員の方が多いです。今後ますます充実した総会になるよう理事一同しっかりと務めていくつもりです。

また2018年度の活動予定と予算案をしつかりと守りセブ日本人会会員の方々に貢献していきます。

セブ日本人会副会長 藤岡頼光

お墓参りのご案内

春のお墓参りを下記の如く予定しておりますので、皆様のご参列をお待ちしています。

日時：2018年3月18日(日曜日)

午前10時頃から20~30分の予定。雨天決行。

場所：リロアン、セブ日本人会墓地。リロアン町 Calero Memorial Estates-Cebu 墓地内。

2018年3月現在セブ日本人墓地には、10柱が収められています。軽装で結構です。お花、仏具、お飲み物(ミネラルウォーター)は日本人会で用意します。

参加される方は下記の道順を御参照下さい。

マクタン島からですとニューブリッジを渡り、最初の交差点(右にPhoenix左にTotalガソリンスタンド)を右折し、リロアン方向へ。

橋を越えて直進。約4キロ(5~7分)で左右に小さいマーケットが見えます。

(橋から約1.5kmの右側にPhoenixガソリンスタンド有る交差点は違いますので、くれぐれもお間違えの無い様に。墓地へ行く交差点はもっと先です。)

墓地に行く交差点左に、セブンイレブンとBea's bake shopの看板が見えます。

その小さくてゴミゴミした交差点を右折し、約1キロで左折する未舗装の悪路が見えます。そこを左折し悪路を200m程進むと右側に“Calero Memorial Estates-Cebu”の看板が見えますので、そのグリーンのゲートを入ると墓地です。

緩い上り坂を道なりに右カーブを過ぎて突き当り右が、日本人墓地。

白っぽい日除けテントと、水色の低い壁が目印です。

2018年 セブ日本人会 活動予定

1月	6日(土)	セブ日本人補習授業校主催	新年会
	16日(火)	一月度定例理事会	
	27日(土)	セブ日本人会定時総会	
2月	3日(土)	日本語弁論大会	スピーチコンテスト
	14日(水)	二月度定例理事会	
3月	14日(水)	三月度定例理事会	
	18日(日)	春のセブ日本人墓地	墓参
	24日(土)	セブ日本人補習授業校	卒業式
	26日(月)	タリサイ慰霊祭	
4月	7日(土)	セブ日本人補習授業校	入学式
	18日(水)	四月度定例理事会	
	21日(土)	マニラより巡迴医療相談	
	22日(日)	3部合同ゴルフ大会(セブカントリークラブ)	
	28日(土)	盆踊り	
	29日(日)		
5月	16日(水)	五月度定例理事会	
6月	20日(水)	六月度定例理事会	
7月	18日(水)	七月度定例理事会	
8月	8日(水)	八月度定例理事会	
	11日(土)	土曜日(ミニ盆踊り)	
	15日(水)	戦没者慰霊祭(マルコポーロ)	
9月	19日(水)	九月度定例理事会	
	22日(土)	マニラより巡迴医療相談(予定)	
	23日(日)	秋のセブ日本人墓地	墓参
10月	7日(日)	セブ日本人会主催大運動会(ドンボスコ運動場)	
	17日(水)	十月度定例理事会	
11月	21日(水)	十一月度定例理事会	
12月	19日(水)	十二月度定例理事会	

※諸事情により、急遽日程が変わることもございます。ご理解・ご協力の程、宜しくお願い致します。

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。

★セブ島通信では、発行日(奇数月の月初)の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。

新会頭のご挨拶



今般、セブ日本人商
工学会頭に就任いた
しました浅見でござ
います。

私はまだ東日本大
震災の余韻が生々しかった2011年4月に
当地に赴任致しまして、直後に商工会の推薦
理事に就任、以降7年間、フレンドシップや
副会頭を担当させて頂きながら、商工会理事
を勤めさせて頂いております。

就任当時の商工会理事は全部で15名でした
が、うち10名が入替わっており、その内4名
が「後任者の後任者」となっています。勿論
企業によって異なりますが、一般的に申し上
げまして企業の海外駐在期間は概ね5年±
2年位というのが、通り相場ではないかと思
います。弊社の日本人駐在員は現在12名です
が、その計算で行きますと、概ね2〜3人が
毎年入れ替わることになります。事実、昨年
は2名離任、2名着任という入れ替わりがあ
りました。

そうした、毎年の異動、特に新任者の受
入に当たって最も気を使うことが、「生活基
盤の安定」ということです。日本とは全く異
なった異国での、慣れない自身の生活環境、
或いは家族の生活環境に、問題や心配事を抱
えたままでは、業務に集中することが困難で
あることは至極当然であり、海外勤務におき
ましては何よりも生活基盤の安定が最優先課
題と考えています。

しかしながら、こうした最も基本的な部分、
健康安全な生活であるとか、教育であるとか、
一般社会コミュニティとの関係深化といっ
た部分にあつては、実は商工会自体は、そん
なには役に立たない、頼りにならない側面が
多々あります。

私は、以前より、海外の日系社会にあつて
は、商工会はいわば家庭における「旦那さん」
のような役回りで、日本人会は「女房役」の
ようなもんだなあ、とそう思っていました。
「旦那さん」は外向きに、やれ現地政府交渉
だの、諸規制・税制対策だのと、走り回って

はいますが、実の所、自身の家族や、或いは
自身の生活には殆ど、と言いますか概ね関係
の無いことばかりやっているものであつて、こ
この所ばかりは「女房役」の方がはるかに大
事であり、影響力があるものと感じています。
一般の家庭でもそうですが（我家もそうです
が）、大概において女房の方が実は権力者で
あり、女房がシッカリしていない家庭は、やっ
ぱりおかしくなっちゃうもので、逆に旦那が
多少ボンクラでも、我家のように嫁さんがし
っかりさえしていれば、家庭は守っていけ
るものと感じます。また、「旦那さん」と「女房」
の関係が悪い所もこりやまた問題で、それは
最早「家庭」というコミュニティの体をな
していない、ということでもありましよう。
年初の商工会総会でも申し上げたのです
が、今、世界の産業界は、IT革命とか、エ
ネルギー革命、EV革命、金融革命、と言わ
れるような大きな変革が起きつつあり、私達
企業人は正にその渦中にあります。言ってみ
れば「旦那さん」は、それなりに頭の痛い宿
題に直面して、ヒーコラしている訳ですが、
こんな時にこそ、日本人コミュニティとい
う家庭を守ってくれる日本人会の存在は、こ
れまでも増して大切であるとしみじみ感じ
ます。

勿論そこには「家庭」内のことだけではな
く、時間を掛け、汗をかいて、信頼関係を構
築していくという「ご近所付き合い」、フィ
リピン社会と日本人社会をつなぐという、
全ての日本人活動の基盤となるような大きな
役割も担って頂いている訳であり、商工会メ
ンバーの最大の関心事である「今年度の事業
損益」や「ビジネス環境」といったもののより
も、遥かにスパンの長い、根源的な役回りが、
あると感じます。

こうした双方が、出来る限りのことを、キ
チンとやってこそ、シッカリとした家庭が、
日本人社会が築けるのでしょう。そうした日
本人社会の発展のために、これまでも増し
て中の良い「夫婦」でありたいと思ってお
りますし、より力強い「女房様」であつて欲
しいと、心より思います。

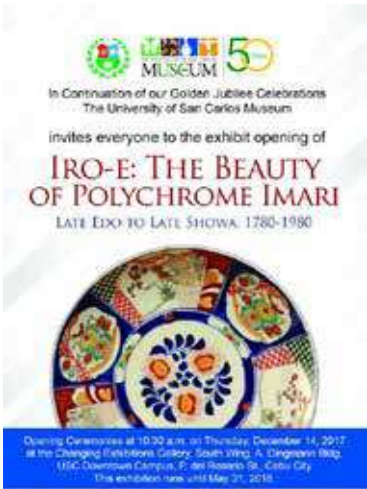
引続き今後とも、どうぞよろしくお願い申
し上げます。ありがとうございました

ゴミの山？から宝探し

蝶谷 正明

ウカイウカイという古物屋がセブのあち
こちにあります。米袋に一袋いくらで仕入
れてきたような？10ペソ、30ペソの古着や
靴などを山のように積んで売っています。

新品には手の出ない人々にとってはありが
たい存在でしょう。日本でもバブルがはじ
けた頃から、リサイクルショップやガレー
ジセール、フリマが流行りました。正価で
はともて手が出ないもの、お店には出てい
ない趣味の品など様々なものが格安で入手
できました。景気が良い時には他人が使っ
たものなんて気持ち悪いと言っていた人た
ちが背に腹は代えられず、しかし一度利用
してみると価値観が一変して病みつきにな
るといった塩梅でした。セブには日本から
の古物を専門に扱うジャパニーズ・サープ
ラスというお店もいくつかあります。コン
テナに閉店したお店の備品一括や引っ越し
時に不要になったものをこれでもかと詰め
込んで持ってくるという聞いています。一時は
まさにゴミとしか言えないような片方しか
ない靴、縁の欠けた茶碗やスキーの板やら
首のもげたお雛様なんでものが堂々と売ら
れていましたが、最近は随分と洗練されて
きたような気がします。それでも店の人が
売っている商品が何だか分からないという
ようなことも多々あります。日本でもリサ
イクルショップなどにはお世話になった
我々夫婦は、セブでも楽しませてもらつて
います。樺の和筆筒やテーブル、紫檀の座
卓なんでものが数千ペソでした。しかも値
切れるのがまた楽しい。ベニヤも銘木も木



は木だろうという知識の欠如が私たちに幸
福をもたらしてくれます。寿司飯を作る飯
台（浅い木の桶）や和食器なども重宝して
います。ついつい不要なもので買い込ん
でしまう危険性がありますので、ご用心く
ださい。

さて、このようなゴミの山？から宝物を
探し出しているのは私たち夫婦だけではあ
りません。セブの名門私立サンカルロス大
学の文化人類学／考古学のベルサレス博
士はまさにその道のプロです。日本文化に
造詣の深い博士は日本からのリサイクル
ショップを巡り、目に留まった古美術品、
古道具から現在の日用品まで幅広く発掘し
ています。お雛様、陶磁器、家具から始
まってキッチン用品等々、98%は昭和戦後
から平成にかけてのもので、素晴らしい古
美術品というよりも子供の頃を思い出す懐
かしい品々です。今後しっかりと整理をし
ていきたいようですが、膨大な量にままなら
ないようです。そのコレクションの中から
伊万里焼の色絵の磁器が3月31日までサン
カルロス大学メインキャンパス（コロン）
内の博物館で特別展示されています。戦争
で灰燼に帰し、戦後間もなく復興された荘

重な縁とカーキ色の本校舎の中にある慎ま
しやかな博物館の前のオープンスペースで
す。建物自体を観察するのもまた、興味深
いものがあります。もちろん国宝や重文、
重美という逸品があるはずはありません。
江戸末期から昭和末にかけての作品が多い
とのこと。中には底に「大明萬歴〇
〇」などと書かれているものがあり、まさ
か明朝の萬歴帝の時代に官窯で焼かれたも
のかとびつくりしましたが、説明書きを見
ると大正時代とありました。明の時代の作
品をそのままコピー、ご丁寧にも銘まで写
しているのですね。一点ごとに細かい説明
がつけられています。戦前戦後の輸出用の
コーヒーカップなども展示されています。
輸出出来るものが生糸や綿布、安からう悪
からうの雑貨しかなかった時代、日本の陶
磁器はピンキリはあれど重要な輸出品で
した。そこからノリタケや香蘭社、深川製
磁といった世界的に高い評価を得る作品が
生まれていったのでしよう。そのような背
景を考えながら見ていくとセブの地で日本
の近現代を支え、当時の人々に接してきた
品々に会えることに感銘を深くしました。

4月無料医療相談

マニラ日本人会診療所の日本人医師、菊地先生にセブにお出でいた
だきます。

日時：4月21日（土） 午前9時半～午後4時半

場所：セブ日本人会事務所 OR MAAYO MEDICAL

予約：4月19日までに事務局に電話でお申し出下さい。

対象：セブ日本人会、セブ日本人商工会議所会員およびその家族の
方となっております。

普段健康診断などを行っていない方、持病をお持ちの方、現地フィ
リピン人医師との意思疎通に困っている方などは是非この機会に受診
されることをお勧めします。受診の際には血液検査の結果や診断書、
お薬手帳などお持ちになるとより一層詳しく問診が受けれます。

●菊地宏久医師

福島県出身。青年海外協力隊の数学教員として1980年、フィリピンに派遣される。フィリピン人医師との出会いが機となり、帰国後は高知医科大学、東京大学大学院で医学を学ぶ。海外邦人医療基金の派遣で2004年～2007年の間ジャカルタにて医療活動に従事。インドネシアでのテロや大地震の体験を通し災害医療の重要性を実感する。東日本大震災の避難所にも赴く。2010年4月よりマニラ日本人会診療所勤務。専門は救急・循環器科・感染症・航空医学。

マニラブライマー誌より抜粋

* タリサイ慰霊祭のお知らせ *

日時：3月26日(月)早朝 場所：タリサイ市海岸にて
詳細は追ってご連絡します。

第16回セブ日本語弁論大会報告

第16回セブ日本語弁論大会が2月3日(土) SM Conference Roomにて開催されました。今回は例年より多い14名が出場し、フィリピンの習慣や、日本での経験、方言、アニメ、家族、故郷、自分が日頃から考えていることなど様々なテーマで熱弁を振るい、日頃の学習の成果を発表しました。余興のコーナーでは、トレードにある孤児院の合唱団によるコーラスや、セブミュージックラーニングセンターの生徒さんによるサックス&ピアノ演奏、日本語による歌が披露され、観客を楽しませてくれました。また恒例となった日本舞踊では、花柳萩輔(黒田瑞江)さんによる華やかな舞に、会場は和やかな雰囲気包まれました。審査の結果、社会人部門では、「関西弁、こわないで!」をスピーチした Jeremy M. Solera さん (Advanced World Solutions, Inc.)、オープン部門では、「挑戦する甲斐があった」をスピーチした Mary Joy V. Yap さん (Accenture Inc.) が優勝しました。

さらに、社会人部門第2位の Marviana Lovella Gravoso さんと、第3位の Jose Martin Ipong さんを含む4名が、2月17日(土) マニラの Shangri-La Plaza Mallにて開催されたフィリピンの全国大会にセブ代表として出場し、3名が見事入賞(第1位及び第2位)を果たしました。また全部門から選ばれる最優秀賞には、社会人部門の Jeremy さんが選ばれ、日本への研修旅行が贈られました。セブからの出場者が最優秀賞を獲得するのは、昨年に引き続き2年連続となります。本当におめでとうございます。今後もしサヤ地域における日本語学習者のメッセージの数々を皆様にお届けしていきたいと思しますので、より一層の応援をいただけますようお願いいたします。

なお、今大会開催にあたり、多くの皆様より温かいご支援をいただきました。この場をお借りし心よりお礼申し上げます。

セブ日本語弁論大会実行委員会

セブ日本語弁論大会実行委員会

＜ご寄付を頂いた皆様＞ ※アルファベット順

ABENDAN JAPANESE LANGUAGE CORPRATION
ADVANCED WORLD SYSTEMS, INC.
BANRI NOODLE HOUSE
CEBU LOGITEM, INC.
CEBU MITSUMI, INC.
CEBU OGAWA PHILIPPINES, INC.
CONSULAR OFFICE OF JAPAN IN CEBU
CSY OUTSOURCING
JAPAN FOUNDATION, MANILA
JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY OF CEBU, INC.
KYOCERA DOCUMENT SOLUTIONS
DEVELOPMENT PHILS., INC.
MOBILIA PRODUCTS INC.
MR. AKIO TSUJI
MR. JUN TAKAYA
MR. KENGO TANAKA
MR. MAKOTO OSADA
MS. KINUE SAKURAI
MS. SHIGEMI TERADA
MS. TOMOKO TSUJI
NEC TELECOM SOFTWARE PHILS., INC.
NIPPON EXPRESS PHILS., CORP.
NIPPON KAJI KYOKAI
PHILIPPINE MINING SERVICE CORP.
RICOH IMAGING PRODUCTS (PHILS.) CORP.
ROCOCO GLOBAL TECHNOLOGIES CORP.
TAIYO YUDEN PHILS., INC.
TAMIYA PHILS., INC.
TSUNEISHI HOLDINGS CEBU INC.

セブ日本語弁論大会に参加して

国際交流基金マニラ日本文化センター日本語教育アドバイザー 新谷知佳

2月3日(土)、SM City Cebuにて、第16回セブ日本語弁論大会が行われました。本大会はマニラの本選に出場するための予選でもあります。予選はマニラとダバオでも行われていますが、今年はセブ予選の参加者が最も多く、また、昨年よりも増えて、社会人部門に11名、オープン部門に3名となりました。スピーチの間には、Cebu Music Learning Centerの指導のもと、トレードの孤児院の子供たちによる合唱や楽器演奏、歌唱が披露されました。スピーチは、指導者の先生方による丁寧な指導、そして弁者それぞれが工夫を凝らして考えたスピーチを何度も何度も練習して本番を迎えたことがしっかりと伝わってくるものが多かった。素直な思いや主張が込められているものが多かったように思います。始まる前は緊張した面持ちだったみなさんが、ステージに立つと堂々と話されていくのも印象的でした。そのため、審査は難を期し、審査票だけでは決まらず最終的には審査員による話し合いによって選ばれました。社会人部門の第1位 Solera, Jeremy M. さん (Advanced World Solutions, Inc.) 「関西弁、こわないで!」、第2位 Gravoso Marviana Lovella, P. さん (FRES) 「つづきしんははつめいのげんどうりゃく」、第3位 Ipong, Jose Martin D. さん (Advanced World Systems, Inc.) 「旅行で気づいたこと」、オープン部門の第1位 Yap, Mary Joy V. さん (Accenture) 「挑戦する甲斐があった」がそれぞれ受賞されました。例年、本選に進むことができたのは2名のみですが、今年は受賞者4名すべてをマニラで行われる本選に送ることができました。

セブからの参加者は2月17日(土)にマニラの Shangri-la Plazaで行われた本選でも素晴らしい結果を残し、社会人部門の第1位、そして全体の最優秀賞に JEREMY M. SOLERA さんが、2位は MARVIANA LOVELLA P. GRAVOSO さんが、さらに Ms. MARY JOY V. YAP さんがオープン部門の1位に輝きました。セブからの参加者が3名も受賞したことは大変喜ばしいことであり、日



第35回 無料歯科診療

ボランティア活動報告



2018年2月12-13日の2日間、セブ市内のマゴロ小学校にて行われた無料歯科診療。このイベントは、毎年2月ごろ神奈川県海外ボランティア歯科医師会 (KADVO) と Philippine Dental Association Cebu chapter (フィリピン歯科医師会・セブ支部) が主催しています。また当日は、All Terrain Medical Relief Organization (AMRO) も協力、万全の体制の中開催されました。

今年で35回目となる無料歯科診療は、日本からKADVOからは52名(歯科医師25名、医師1名、衛生士14名、ボランティア15名) また大分県別府南ロータリークラブ会員5名の57名が参加、フィリピン歯科医師会・セブ支部からは80名、技工士7名、歯科医学生10名、コーディネーターとボランティアの合せて25名のもと行われました。2日間無料クリニック受診者は1450名。治療内容は充填、抜歯、スケーリング、義歯。歯科診療に加え、最も重要な口腔衛生教育も小学1、2年生対象に924名に実施しました。虫歯なる原因とその予防、正しいブラッシング教育など絵を使い教えていました。子どもたちも真剣にそして楽しく学んでいたのが印象的でした。KADVOの活動は1982年よりフィリピン・セブ島を中心に始まり、毎年の無料歯科診療活動、口腔衛生教育活動を主に実施してきました。特に歯科診療に恵まれない地域住民、子供たちに無料で歯科診療を提供し、同時に口腔衛生教育をすることで、健康な歯の保持と予防の大切さの意識改革を持ってもらいたいと考えています。同時にこの活動を通してフィリピンと日本との友好が深まればという願いもあります。

今年は、初めてシーラント(プラスチックを埋め込み虫歯の進行を抑制し、予防効果を持たせようとする手法)を取り入れました。日本では当たり前ですが、予防治療はとても大切だと、近藤先生が語っていました。今年は2日目に台風にあまれ例年より若干受診者数が少なかったものの無事終了。人生が変わると言われるほどの歯を治療、フィリピン人の皆さんに明るい未来が来ることを願います。



写真左から: 山本理事長、近藤先生 (KADVO実行委員会委員長)、新井先生



http://www.kadvo.com/

挑戦する甲斐があった

Yap, Mary Joy V.

幼いころから日本の歴史、文化そして言語について深く興味がありました。看護師になりたい時期もありましたが、大学2年のときに高校時代の後輩と出会ったことがきっかけで新たな目標を見出しました。その後、国際学科へ転学し、日本のことがもっと好きになりました。今思えば、あの時の再会がなかったら、日本のことは遠くの存在だとずっと思いついていたままだったでしょう。

運がよかったことに代表の一人として選ばれました。あの時クラスメイトと廊下で出会ったおかげです。そして、初めて海外に行きしかも、愛しい日本に、やっとたどり着くことができたのです。最初の週は大変でした。特に各国の代表はまるでネイティブスピーカーのように流暢な日本語を話していました。「ほとんど同じ年なのに、なんでペラペラなのかしら？一体どんな方法を使ってる、あんな風に喋れるようになったんだろう。」と自分の未熟さを目の当たりにして不安になりました。けれども諦めずに、挑んでもがいて、少しずつ差を縮めるようにしました。

大学卒業後、日本人が経営する情報総合サイトの会社で働き始めました。初めて与えられた仕事は失敗ばかりでした。お客さんが、物凄く不安そうな顔をして怒っていました。次の日に上司と話をしして仕事の感想まで聞かれました。上司は挫けそうな私にこう言いました「大丈夫。まだ始まったばかりだから、気にしないで」私は上司の温かい言葉に救われました。

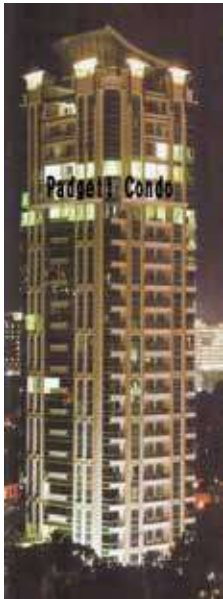
そして4年後、さらなる日本語のスキルアップに挑んでマニラに行きました。前から働きたかった銀行に、応募しました。2、3週間後ようやく内定をもらいました。銀行の経験は、もちろんなかったです。正直にいうとここでの仕事は一番大変でした。でも人との絆にかわりはありません。とても幸運なことに、日本に行く機会に恵まれました。タスク移行があり、たまたまもう一人の日本語スピーカーが妊娠していたため、その代わりです。足手まといではありませんでした。



ある日、トラブルが起こって酷い目に会った時、一人の先輩が、「まだ新人だけど、働きぶりはすごくいいから、ずっと長くここに

パジェットコンド・賃貸 (日本人所有)のご案内

最高のロケーション(アヤラデパートまで徒歩7分)・フィットネスプール
TV、調理器具、ダブルベッド、エアコン、ソファ、窓カーテン
すべての生活用品が完備しています。新築2年のスタジオタイプ。



契約書は日本語、日本での支払可能
(日本人への賃貸希望)

——問合せ——

セブでの連絡先・現地案内(無料)は **263-0614 [鈴木]** にどうぞ！
(契約詳細等は大阪市在住の女性・竹田さん(所有者)に直接お問い合わせいただきます。

——賃貸料——

[参考]: 最小期限1年、月4万5千ペソ、長期契約は割引。
共有料金等は直接ご相談いただきます。

*その他リロアン町高級団地「ドロス不動産」に家屋所有。
竹田さんの母親の隠居家(2F)ですが、フィリピンメイドだけだと不安なので一緒に住んでくれる**日本女性(夫妻可)**を探しています。寝室4部屋あり3部屋、その他は自由にお使いいただけます。**家賃格安**。ご相談ください。

- ◆ セブの問合せ: **0917-7171-839. (032) 263-0614**
- ◆ Email: suzkicebu@yahoo.co.jp www.cebunmactan.jp

D' Tratou Cebu Translation & Travel Assistance



(横浜市立大学文理学部英文科卒 鈴木了)

(Document Translator): Rio Suzuki [MEL in Yokohama City Univ.]

*公文書 / 証明書 (Official Documents / Certificates) *契約書等 (Contracts / Agreements)

*仕様書 / マニュアル (Business Technical Specifications)

・・・遺族年金申込手続・・・

(Procedures for Pension Benefits to a Filipina family)

*Cedula, *BIR Cert, *Barangay Cert, *Child ID, etc.



(日本国での担当: 中原周太郎 行政士)

Please feel free to inquire directly!

・・・法律相談・・・

(Legal Advice & Assistance)

フィリピン国弁護士による諸手続・法律相談

(会社設立 (SEC・DTI)(Mepz 含む) 養子縁組・離婚・その他訴訟)

(担当: 弁護士 ダニロ シノブハン 日本語できます)

- ◆ Inquiry: Cell: 0917-7171-839. Tel & Fax: (032)263-0614
- ◆ Email: suzkicebu@yahoo.co.jp ◆ Website: www.cebunmactan.jp

www.mactanboy.com

エメラルドグリーンダイビングセンター

Emerald Green Diving Center

☆☆ ジンベエツアー開催 ☆☆

日本人インストラクターが5人常駐!!ダイビングが初めての方やお一人で参加される方にも安心。少人数、安全そしてきめ細かなサービスで快適なダイビングを約束♪またセブ島の南サンタンダー、モアルボアル、ボホールにも支店(もちろん日本人インストラクター常駐)がありますので、マクタン以外の海を潜りたいダイバーの方は、ぜひこちらも潜ってみてはいかがでしょうか？

電話: (032) 495-7728 or 495-8372

携帯: 0917-321-6349 (日本語可)

場所: Anemone Resort 内

Buyong, Maribago, Lapu-lapu City,



特典

セブ島通信を見て事前にダイビングをご予約された方
オリジナルTシャツ贈呈&ランチ無料!
プロモ期限: 当セブ島通信発行年月より1年間

広告掲載募集

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール: info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。

★セブ島通信では、発行日(奇数月の月初)の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。



セブ在住だけでなくセブ島の観光を楽しむことがしたい... 日本から派遣されるので、一部にだけほしいけどガイドを雇うほどよく知らない... など悩める方は、是非とも弊社までお問い合わせください。基本料金でのホテル手配やオプショナルツアー手配など様々なプランのご提案をいたします。アイランドピクニックから豪華観光ボートツアー、楽しいツアーまで幅広くおこなっています。

PTNトラブルはココが安心!

●フィリピン政府観光省認定の正規旅行会社

●日本人スタッフ常駐だから安心

●日本人スタッフ常駐は24時間受付。途中のトラブルでもすぐにサポートします。

●現地では観光客に役立つガイドが常駐



PTN TRAVEL PTN TRAVEL CORP.

0917-321-6349

1700 Shomon, Ayala Hwy, Lapu-lapu

オプショナルツアー	
セブ島観光	¥4,000
アイランドピクニック	¥4,000
ボート乗船体験	¥4,000
ビーチバーベキュー	¥4,000
ナイトダイビング	¥4,000
サングレマのビーチバーベキュー	¥4,000
カクタマのビーチバーベキュー	¥4,000
ニューバレーのビーチバーベキュー	¥4,000
1700 Shomonのビーチバーベキュー	¥4,000

いる人よりもマルの方に期待してるよ。」と言ってくれました。その言葉を聞いた瞬間に、涙が止まらなくなりました。

そして、自分にこう言えます。「挑戦する甲斐があった」。挑戦しなかったら日本にすら行けなかっただろうし、夢すら叶えられな

こうきしんははつめいのげんどうりよく

マ・ビアナグラボソ

皆

さん、子どものころをおぼえていますか。
「お母さん、あれはなに。」「りんごよ。」

「お父さん、あれはなに。」「あれはひこうきだよ。」

「サンタさんは、ほんとうにいるの？」

「お母さん、あかちゃんはどこからくるの。」など、私はたくさんのおもちゃをりょうしんにしてきました。

そして、大人になるにつれて、もつとつまんずるようになり、
こたえを知るにつれて、しつもんもふくぎつになりました。



かったと、私は思います。私にとって一番大切なのは培ってきた人との絆だと思います。支えてくれた人たちがいるからこそ、私は今ここにいます。支えてくれた人たちに感謝して、私はこれからも挑戦し続けていきます。
ご清聴いただき、ありがとうございます。

こだいギリシャから、21世紀になるまで、じんるいをこまらせたしつもんがあります。
「とりがさきか、たまごがさきか」です。

けんきゅうしゃはすでにこたえをみつけています。皆さん、こたえを知りたいですか？それは、たまごがさきということです。

私たちが今見ているとりは、長い時間の中で、しんかをしてきました。

とつぜんへんには、もともとあるさいぼうの中で、おきることなので、とりというのは、いつもたまごから生まれます。ですから、たまごがさきなのです。

むかしむかし、ある人が言いました。

「もし、空をとべたら、行きたいところに早く行けるのに。そして、世界中を見れるのにも、どうしたらとべるのだろう。」

人々は人間はぜつたいとべないよとわらいました。

しかし、じつさいはどうでしょう。げんざいは大切なこうつうきかんとなり、毎日、やうく、42700びんのひこうきが世界中をとんでいます。

べつのれいですが、世界で一番早いわであるしんかんせんは日本ではつめいざれました。しかし、とうじのしんかんせんはトンネルをとる時、すう百メートルからも聞こえるとても大きなおとを出しました。そのおとを小さくするために、エンジニアの人たちは色々考えて。そして、それをせいこうさせたのはバードウオッチングをしゅうみとす

るエンジニアの人でした。

なかつめいじさんは、池で水あびをする時や、魚を食べる時に、小さなおとしか出さないかわせみから、このほうほうをおもいつきました。

かわせみのように、れつしやをうごかすのは、どうすればいいだろう。

そう考えて今のしんかんせんが生まれまして。しんかんせんが一番前はかわせみの口ばしのかたちなのです。

このように、こうきしんからはじまり、それがはつめいにつながっていることはたいへんすばらしいとおもいます。あたりまえだと、おもっていることに、ぎもんをもつことで、はつめいが生まれていくのです。皆さんはなにかにきょうみをもち、もつと知りたい、なぜそうなるのかとさいごにしつもんしたので、

旅行で気づいたこと

Jose Martin Ipong

な

ぜ人は旅行しますか？その質問に多くの人は休みを取るためと答えます。旅行は、日常から逃れる

ためにとても良い方法です。だからこそ、世界中に観光地という場所があります。しかし、旅行した人は、楽しい経験をしたことだけではなく、世界の見方が変わったということには気付いていないかもしれせん。この視点が理解できるように、行った事のない場所に旅行することが必要なのです。私にとって、旅行は自分の人生で経験する必要がある非常に重要なことです。それはどうしてでしょうか？

まず、毎日の生活で経験しないことが旅行で経験できます。人々は通常、自分の周囲に慣れて、別の世界があることを知らないです。そして、みんながその別の場所を経験すると、それぞれの場所でそれぞれの経験があることに気付くでしょう。きれいな場所、文化、食べ物、匂いは、それらの場所でしか経験することができません。しかし、すべてを経験す

は、いつだったか、おぼえていますか？

さあ、わたしたちのまわりにあるすばらしいものごとにきょうみをもってみましょう。近くの小さなしょうくぶつからとおくのちいさなほしについてまでです。子どものころにもつていたこうきしんをとりもどして見ましょう。

ばかにされるかもしれない、はづかしいな、とおもわないでください。

そのしつもんから、人がおどろくはつめいにつながるかもしれません。
小さなぎもんから、なにかが生まれるかもしれません。

今日からはじめてみませんか。

ごせいちようありがとうございます。

する必要はありません。必要なのは、一回でもいいので旅行を経験して、みんなの世界の見た、変えていくことです。

私はあまり旅行をしたことがないですが、タイに行ったことがあります。はじめてタイに行ったとき、いろいろなことに気づきました。たとえば、タイ人はちよつとフィリピン人みたいだし、匂いはマニラのようです。言葉と料理は違いますが、どこか似ている気がしました。これは私にとって大きな発見でした。タイに行かなかつたら、わからなかったことです。私はいろいろな国へ行つて、言語とか、文化とか、もつと知りたいです。旅行したのは外国だけではありません。私はセブの隣の島のバコロドに行ったことがあります。同じフィリピンですが、言語が違いました。同じですが、違います。私の世界の見方が変わりました。

他の場所を見たあとで、どうして世界に対する意見が変わるのでしょうか。私は新しい場所に行ったら、心がワクワクします。なぜ



なら、たくさん知らないことがありますから。でも、知らないということは怖いことでもあります。今はインターネットで、かんたんに情報を調べることができます。でも、インターネットで、できないこともあります。たとえば、その場所のにおい、文化、人と人のつながり。これらは、旅行でしか、経験できないことです。だから、旅行が必要です。世界は良い点と悪い点があります。皆はそれが分かりますが、旅行したら、良い点をもつと見ることができると思っています。人は旅行をとおして、もつとその場所を知ることができずから、怖い気持ちは少しずつなくなります。そして勇気をもらえますから、旅行は本当に必要です。旅行は本当にいいアクティビティです。思いを変えるために、世界を理解するために、旅行したら、それぞれのことをいっぺんにつかむことができます。

旅行でいろいろな思い出や経験ができます。写真を撮ったり、友達を作ったり、新しい言語を習ったりもできます。がっかりすることもあります。きつとすばらしいことがもつと多いです。だから、皆さんがまだ旅行していないなら、旅行してみてください。後悔することはないはずです。世界でいろいろなすばらしいことが皆さんを待っています。世界の見方がかわるように、どこでもいいです、旅行してみませんか。





Performance
Contest
Show

Others

Enka, Dance, Karate, Kendo
Karaoke, Yukata, Cosplay
Cessna flight, Ninja, Comedian,
Rice pounding, Candy shower, Fire dance
Bonodori dance, Raffle, Fireworks, etc.





※For more Infomation, visit or call (032)231-4433

※Schedules are subject to change due to various circumstances.



便利な IDカード

セブ日本人会では2年に1度会員の皆様に配布しているIDカードを更新しています。IDカードは協賛店／協賛ホテルからかなりお得な特典を受ける事が出来ます。更に緊急時の連絡先や簡単な身分証明としても使用可能です。会員にとってはかなりのメリットを受けられますので是非皆様IDカードの手続きにご協力ください。

未だ ID カードの手続きをされていない会員の方もこの機会に取得されることをお勧めします。ID カードの更新、新規は無料です。紛失などで再発行の場合は実費費用負担をお願いしています。負担額は 200 ペソです。

ID カードは2月1日より有料で会員様の配偶者、18歳以上の御子息及び配偶者までに限り協賛店及び協賛ホテルの割引
きなど特典目的限定で発行いたします。



Q-Bay
Japanese Restaurant

セブの美味しい地鶏を食べに来ませんか？

Q-Bay Japanese Restaurant





Q-Bayは、オープンエアが気持ちいい気軽に立ち寄れる居酒屋です。一日の疲れを癒しに来ませんか。

焼き鳥は100年続く秘伝のタレと、塩からお選び下さい。長時間コトコト煮込んだこだわりのラーメンもどうぞ。

ランチメニューは ラーメン、弁当など 全品200ペソ以下でご利用いただけます。

☎ 032-401-0402 ✉ qbayresto@gmail.com 📘 Q-Bay restaurant

Bayline 4 Ground Floor IT Park, Lungsod, Cebu City

月～金: 12:00～14:00 日～木: 17:00～25:00 / 土・日: 17:00～27:00



お風呂・サウナ・マッサージ

当店は、お風呂もマッサージを併設する居酒屋です。セブに在住の日本人はもちろん、ツーリストや地元セブの方々にもご好評を頂いております。異域ラン設置ですので、店内ならどこでもインターネットに接続できるなど、嬉しいサービスもご用意します。

メニュー例

- ねぎま
- ぎょうざ
- 刺身盛り合わせ
- ラーメンほか250種類以上のメニュー!



サン
ミゲール・
ビール
700ml

営業: 朝10時から深夜2時まで

お仕事やゴルフ、ダイビング後のリラックスなどに最適です。一日の疲れた身体を当店自慢のお風呂でゆっくりとほぐし、マッサージサービスもあわせてご利用くださいませ。



セブ日本人会

神楽 KAGURA

Tel. No.: (032) 346-0088
A.S. Fortuna Street, Marikina, CEBU

セブ日本人会 協賛店／協賛ホテル一覧

食材店

町屋マート

ホテル・ビーチリゾート

Movenpick Hotel Mactan Island Cebu
Shangri-La's Mactan Resort and Spa Cebu
Marco Polo Plaza Cebu Hotel
Waterfront Cebu City Hotel
Waterfront Airport Hotel
Waterfront Insular Hotel Davao
Jpark Island Resort & Waterpark Cebu
Maribago Bluewater
Blue water SUMILON ISLAND
Blue water PANGLAO BEACH
Lubi Resort Santander
Anemone Resort and Tours Cebu
Kandaya Resort Hotel

ダイビング・マリンスポーツ

アクアマリンオーシャンツアーズ（マリンアクティビティ）

ブダンディン・マリン・ダイバー

アクアパティス
エメラルドグリーン・ダイビングセンター
—マクタン店
—サンタnder店
—モアルボアル店
—ボホール店

飲食店

【マ^ンダウエ市】

神楽（和食）
らーめん野武士（ラーメン）
オイスターベイ（シーフード）
スキレット（和洋食）
HAPPY SUMO（和食）
Tao Yuan（中華料理）
松之屋（和食）

【マクタン島】

だるま（和食）
空海（和食）
夜桜（和食）
マリバゴグリル（フィリピン料理）
花魁（和食）

【セブ市】

遊々亭（和食）
はる／旧さっちゃん（お好み焼き）
ータランバン店
悟空（和食）マボロ店
ミッキーズ（ケーキ）
Q兵衛（和食）
TYMAD BISTRO（フランス料理）
夢屋喜兵衛（和食）
AMPERSAND（西洋料理）
寿や（ラーメン）
ラーメン空／やきとり備長炭
秋田／AKITA（和食）
Mio Cafe and Restaurant（フィリピン料理）

韓陽苑 (焼肉レストラン)
幸 全店 (日本食レストラン)
麻布 (日本食レストラン)
Circa 1900 (洋食)
一路発 (ラーメン)
但馬屋 (焼肉)
Jazz'n Bluz Bar & Restaurant

美容·健康

ワウ・セブ歯科医院（歯医者）
スマイルデンタル（歯医者）
Japanese Tea Lounge（マッサージ）

レジャー・スポーツ

セブトップ（遊覧飛行、体験飛行）

その他

Character Studio (オリジナルグッズ)
誰でもヒーロー (ボランティア)
NPO セブンスピリット / Sevnsprit (ボランティア)
ジャパン支援センター (退職者ビザサポート)
QQ English (英会話学校)
D'Tratou Cebu (翻訳業務)
Sky Water Park (プール&レストラン)
Wabi Linkage Corporation (翻訳業務)

旅する

フレンドシップツアーズ
KSB トラベル
AS レンタカー

割引き、もしくは特別サービス御座います。必ず会員証をご持参ください

広告募集中です。セブ島通信の発行費は広告料金でまかっています。ぜひご協力ください。

【広告料金】

① 3 分の 1	2 段	800 ペン
② 2 分の 1	2 段	1,200 ペン
③ 3 分の 2	2 段	1,600 ペン
④ 全幅	2 段	2,400 ペン

【お願い】①最低 6 ヶ月は継続してください。
②この 3 号分は同一原稿です。
③お支払は前払原則です。
④完成した原稿をお持ちください。

【お申込みは】
セブ日本人会事務局
電話：032-343-8066
FAX：032-343-7663

マニラ日本人学校巡回授業

1月27日（土）の2時間目と3時間目は、マニラ日本人学校の先生による巡回授業でした。毎年、5月と8月に行われていましたが、5月は現地の学校が夏休みというところが多く、日本に一時帰国をする生徒が多く、出席数も少なくなるため、今回は1月にさせていただきました。

今回は、大西啓就先生には中学生・J3に和太鼓を、中野満先生には小学5年社会、小学2年に図工

を、三松久恵先生には小学5・6年に絵手紙、小学2・3・4年に書道を、荒井啓臣先生にはJ1・2理科を、小野孝晃先生には小学1年国語、小学3・4年理科を、岡本千温先生には小学1年理科、小学6年図工の授業をしていただきました。また尾形斉校長先生にも参加いただき、授業の後、昼食を食べながらの情報交換会を行いました。

来年度の日程はまだ決まっておりませんが、また充実した授業を行っていただき、補習校講師も日々の授業の進め方の参考にして参りたいと思っています。



節分

2月3日（土）の3時間目に節分の行事を行いました。紙皿やストロー、毛糸などを使って、鬼のお面を作りました。また「ちびまる子ちゃん」の節分のエピソードの動画を見ました。そして廊下に出て、鬼役の中学生に大きな声で「鬼は外！」と穀付きピーナッツを投げて邪気を払いました。最後に煎り豆を年の数だけ食べました。今年も一年、健康でいられますように。



新年会

1月6日（土）10時から12時まで、新年会が行われました。すごろくやかかるたなどの正月遊び、けん玉、餅つき、書初めなどで大いに盛り上がりました。一生懸命、自分たちでついたお餅はとても美味しく、何度もおかわりをしていました。

マニラ日本人学校巡回授業・和太鼓体験

林 美恵子

1月27日、セブ日本人補習校では、今年度2回目となる、マニラ日本人学校（MJS）巡回授業が行われた。通常の科目授業もあれば、理科の実験、書道など、内容は様々。各学年クラス単位で授業を受ける。

今年度、日本語クラス3と中学生は「体験」がテーマ。前回の「ものづくり体験」に続き、今回は「和太鼓体験」。時間になり、「おきろー！」と叫びたくなるような、だらーんとした姿にハラハラしたが、「ドン！」という、ご近所まで響く大きな音でMJSの先生による授業がスタート。身体の内まで響く和太鼓の音に、こどもたちの目が完全に覚めたようだ。圧倒されていたのも束の間、バチを手にもたされ…もつと、早速、先生のリズムに合わせて手が動く。

先生のわかりやすい丁寧な指導により、とても上手に叩き始める。彼らのリズム感の良さにもびっくりさせられる。あとで、感想を聞くと、「叩くの気持ちよかったあ」「楽しかったあ」の声がとても多かった。たしかに、バチを手にした瞬間から、「この子、こんなに笑うんだ！」と、なんだか、いつも教室で見る姿とちがう生徒が多かったような気がする。通常なら休み時間は、スナックを食べながら、のんびり過ごすこどもたち。そんな姿は、この日は見られなかった。「ドンドン！きやつきやつ！ドンドン！おー！」先生と一緒に、ずーっと、和太鼓に触れていた。

2時間目にもなると、汗びっしょり。しかし、こどもたちには、そんなこと関係ないようだ。「ドンドンドンドンドンドンドンドン」「ドンドンドンドンドンドン」と数パターンのリズムを身体に覚えさせる。それに合わせて出す「そーれ！」の声。最初は少し恥ずかしそうだったのに、和太鼓を叩く自信と共にどんどん大きくなっていく。聴いて心地よい。

個人プレー、グループプレー、ときどきずれるリズム…。しかし、それもまた、いい音色を響かせていた。和太鼓の音色と、こどもたちの笑い声。「先生も一緒にどうですか」の一声を期待する自分がいたのは否めない。あつという間に2時間の和太鼓体験授業の終了。英語やビサヤ語を話す彼らの姿に「日本」が見えた。

「日本を体験する」海外にいるからこそ、日本の文化・芸能の素晴らしさを、より感じることができるのかもしれない。



私のマーヨンな
GOOD
近所
水野

我が家は泥棒に入られたことはない。外で飼われている闘鶏用の鶏はたまに盗まれていようだが、私のものではないし、逆に静かになってくれている。外に放置されているごみもたまに盗まれる。これまた私にとつてはかえつてありがたいくらいだが、まとまつたら売ろうと思つていた姑にとつてはおもしろくないらしい。たまに家の中の米やシャンプーがなくなることはあるが、これはおおよそ誰が持つて行くかの見当はついていない。近所でも泥棒の被害がないわけではない。では、なぜ我が家に泥棒が入らないのか。まず奥まつたところにひつそりと建つているため、土地勘のない人に狙われることはない。それに加へ、窓という窓に鉄格子がついており、戸締りさえしっかりしておけば、入られることはないのだ。これはこれで安心であるが、火事になったらおそろく逃げられないであらうと常々覚悟はしている。

しかしある日の真夜中、コンコンという何かを叩く物音で目が覚めた。妙に響き、まるで我が家の壁に穴を開けているような音であつた。そういえば、銀行に続く秘密の地下通路を何か月もかけて掘つて、金庫ごと持つて行くという泥棒がフィリピンに在るという話をきいたよ
うな。そうつと起きて、家をぐるりと回つてみたが、我が家の周りで人の気配はしない。冷静に考えてみれば、我が家には金庫なんてないし、そこまでして手に入れたと思う金目の物もないのだが、壁に穴を開けられ押し入られてはたまらない、と恐ろしくなつた。が、しばらくするとしーんと静まり返つたので、また眠りに着こうとしたら、またコンコンと聞こえてくる。

この音は、完全に壁に穴を開けている音だ。ウチも何回か水道管を通すために家に穴を開けたことがある。親戚の叔父

さんお手製の、塩ビ管に五寸釘が突き出ているものをとんかちでたたきながらコツコツと穴を開けていく、あれの音だ。

それはきつと間違いないのだらうかと、時計を見ると二時を少し回ったところだった。こんな夜中に壁に穴を開ける理由は何なんだ？ 気になるとどんどん気になるコンコンという音。完全に目が覚めてしまった。そのうちに電気ドリルのキーンという音とゴゴゴという壁に穴を開ける音が響き渡る。どうやら一メートル弱の道の向かいに建っているコリアンレストランの建物の壁に穴を開けているらしい。しばらくして穴が貫通したらしく、パラパラという小石のようなものが我が家のトタン屋根に落ちてくる音がする。続いて、今度は結構な大きさのコンクリートの塊がポツコンポツコンと我が家の屋根に直撃する音。窓のすぐ向こうで朝までカラオケに講じていたり、鶏が一斉に鳴いたりなんてことは日常茶飯事です。そんな中、普通に寝ている人たちがさすがに起きてきた。

隣りの家の人が大きな声で「朝になつてからやってくれ。」と叫んでいたが、まったくお構いなしに作業は続く。

この国では壁と建物が一体化した建造物をよく見かける。正面から見るとオシャレな家だったり、ビルだったりするのだが、裏からみればコンクリートの打ちっぱなしとか、途中でスパンと切り落としちゃった感じの。切り落とした面は壁なので、当然、窓もない。表と裏がぜんぜんちがうじゃん、みたいな。こういう建物を抵抗なく建てられるというのは、彼らの性格に由来しているのではないかと密かに思っていた。このコリアンレストランも我が家からは裏しか見えないので、表で何をしているのかは知らないうのだけど、いつの間にかクーラーの大きな室外機が、空中のことではあるが、完全に敷地をはみ出し取り付けられていたり、小さな窓ができていたりしていたのだから、今回もそんなことなのだろう。が、なぜわざわざこんな夜中にやるのだろう。

音は治まるどころか次第に工事が本格化してきて、我が家のトタン屋根にもだ

んだん大きなコンクリートの塊が落ちてきて、とてもじゃないけど寝てなんているられない。

すると、姑が、「私、言ってくる。」と、鼻息も荒く家から飛び出して行つた。そうそう、いくらこちら側から大きな声を出したところで、何しろそびえ立つ壁だから、向こうには聞こえていないのだらう。いや、聞こえていても、聞こえなかったことにされているのかもしれないけれど、正面から文句を言いに行くには、一度、道路に出てグルリと回つて行かねばならず、かなりの距離だ。が、さすがは姑だ。

そして数分後、真夜中に響き渡っていた電気ドリルで壁に穴を開ける音は止んだ。しばらくして戻つて来た姑は、我が家を含めた壁のこちら側に住む住民たちの英雄となった。

しかしその時点でもうすぐ四時。私も再び横にはなつたが、五時には起きて朝ごはんの支度やらをしていた。やがて日が昇ると再び穴を開ける音が盛大に始まった。姑、明るくなるまで待て、と言つたらしいが、本当に夜明けとともに工事が再開した。

それから数日後にも、朝の六時過ぎから穴を開ける音がしていたが、一体、何をするつもりだろう、と、思っていたある日のこと。突然、いい匂いがするようになった。それは決まった時間帯ではないのだが、このあたりでは嗅いだことのない美味しそうないい匂い。しかも強烈。日中、隣の壁を見上げてみると、そこには我が家に向かってふたつ、換気扇の排気口が伸びていた。ここでようやくこの間の騒音は、この穴を開けていたんだな、と、わかった。

騒音に悩まされていた時には、まったく迷惑なコリアンレストランだ、絶対にこんな店に行くもんか、と思っていたのだが、この迷惑の匂いに負けてしまうような気がしなくてもない。

女 37 歳 セブ島で楽しく明るい貧乏生活

JUNKO

私はセブに来る前、精神障がい者に関わる仕事をしてきました。そのため日頃から悩みを抱える方々に囲まれて生活していました。だからこそ、初めてセブに来てフィリピン人と触れ合った時、飛びぬけた明るさと楽観的な生き方には衝撃を覚えると同時に、大きな可能性を感じました。

フィリピンはまさに「笑顔が笑顔をよく」国だと思えます。みんなが笑顔なので、つられて笑ってしまいます。このパワーを日本にも届けたいと常日頃思っていました。そんな私に大きなチャンスが訪れました。先日、福島のとある旅行会社から「震災後に避難生活を送り不登校、引きこもりになった子どもたちをセブに連れて行くツアーを企画したい」と相談がありました。奇遇にも私は福島出身であり、震災直後から現在まで被災地の支援を続けています。これは運命だ！と思い、福島の子どもたちのために出来ることを必死で考えました。

震災直後の福島、宮城の光景、住む場所を奪われ見知らぬ土地で暮らさなければいけない境遇、家族や友人を亡くした喪失感と、自分が生き残り助けることができなかったことに対する罪悪感。津波の被害にあった人々は大きな悲しみや苦しみを抱えて生きています。日本では震災直後笑うことすら「不謹慎」と言われていました。今回のツアーに参加する子どもたちは、そんな日本の「不謹慎」という風潮から抜け出せず、笑顔の連鎖が断ち切られた世界に生きてるのではないかと思います。

そこで今回のツアーでは、笑顔の連鎖に福島の子どもたちを巻き込む計画を立てることにしました。「子どもらしく」ある時期を失ってしまった子どもたちにとって、思いっきり「子どもらしい」セブの子どもたちは、とても優秀な先生です。セブの子どもたちは福島の子どもたちを決して「被災したかわいそうな子ども」としては見ませんでした。同じよ

うに福島の子どもたちも、貧困地区に住むボロボロの服を着て、靴も履いていない子どもたちを「恵まれないかわいそうな子ども」とは見なかったようです。子どもはお互いにレッテルを貼りません。初日には笑顔を見せなかった福島の子どもたちも、セブの子どもたちと一緒に遊んでいるうちに、自然と笑顔になっていきました。

笑顔は最高の万能薬です。そんな万能薬が街中にあふれているのが、ここフィリピンだと思います。これからも私は、日比でお互いの可不足を補い、助け合える関係を築くための懸け橋になりたいと思っています。

後日嬉しいお知らせが届きました。今回ツアーに参加した福島の子どもたち全員が、今は元気に学校に通っているそうです。彼らが成長し、大学生や社会人になったとき、今回笑顔のパワーをくれたセブの子どもたちのために何ができるのかを考え、新たな懸け橋になってくれることを期待したいと思います。

広告掲載のお礼

この度フリーペーパー各社（セブトリップ、咲楽、セブポット様）のご厚意により日本人会の情報、お知らせを無料で掲載していただくことになりました。いろいろな情報がたくさんの方に発信できるようになり関係者一同喜んでます。この場を借りて御礼を申し上げます。

セブ日本人会 会長 櫻井 絹恵



★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。

★セブ島通信では、発行日（奇数月の月初）の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。